

嶺南地域を取り巻く現況

1.位置・地勢

福井県嶺南地域は、敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町からなり、県の南西部に位置しています。北は日本海若狭湾に面し、東は本県丹南地域に、南と西は滋賀県および京都府に、それぞれ標高800m前後の山嶺を境として接し、面積は約1,100 km²です。山や海がある豊かな自然に恵まれ、約13万4千人（平成31年4月時点）が暮らしています。

各市町の中心部に人口が集まる一方、それ以外は非常に低密度で山間地域に居住地が点在し、かつ高齢化が顕著な人口構造となっています。

今後、北陸新幹線が令和5年春に敦賀まで延伸される予定であり、関東方面からの観光客など、交流人口の一層の拡大が期待されます。



市町別総面積、可住地面積、人口密度

市町名	総面積 (km ²)	可住地面積 (km ²)	可住地面積人口密度 (1 km ² 当たり)
敦賀市	251.41	53.07	1,232.75
美浜町	152.35	25.32	379.54
若狭町	178.49	50.90	290.37
小浜市	233.11	42.28	688.65
おおい町	212.19	25.49	318.99
高浜町	72.40	19.04	548.42

資料：総務省統計局「統計でみる市区町村のすがた 2019」、人口密度は福井県統計情報課「福井県の推計人口」より算出

2.人口、将来推計

嶺南地域の市町の人口は、敦賀市が突出して多く約6万5千人、次いで小浜市が約2万9千人です。その他の町の人口は、いずれも1万5千人以下です。

人口の推移をみると、平成2年をピークにして、いずれの市町も微減傾向となっています。将来推計では、令和27年には現在より約3割減少することが予想されています。

市町別人口の推移

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
敦賀市	68,401	67,204	68,145	68,402	67,760	66,165
美浜町	13,222	12,362	11,630	11,023	10,563	9,914
若狭町	17,835	17,567	17,313	16,780	16,099	15,257
小浜市	33,774	33,496	33,295	32,182	31,340	29,670
おおい町	10,598	10,251	9,983	9,217	8,580	8,325
高浜町	12,425	12,201	12,119	11,630	11,062	10,596
計	156,255	153,081	152,485	149,234	145,404	139,927

資料：国勢調査

市町別人口の推移（将来推計）

(単位：人)

市町名	平成30年	令和7年	令和17年	令和27年	(R27-H30) / H30
敦賀市	64,930	61,879	56,816	51,000	▲21.5%
美浜町	9,472	8,551	7,220	5,942	▲37.3%
若狭町	14,496	13,587	11,995	10,401	▲28.2%
小浜市	28,672	26,360	23,154	19,978	▲30.3%
おおい町	8,104	7,053	5,906	4,827	▲40.4%
高浜町	10,361	9,494	8,337	7,126	▲31.2%
計	136,035	126,924	113,428	99,274	▲27.0%

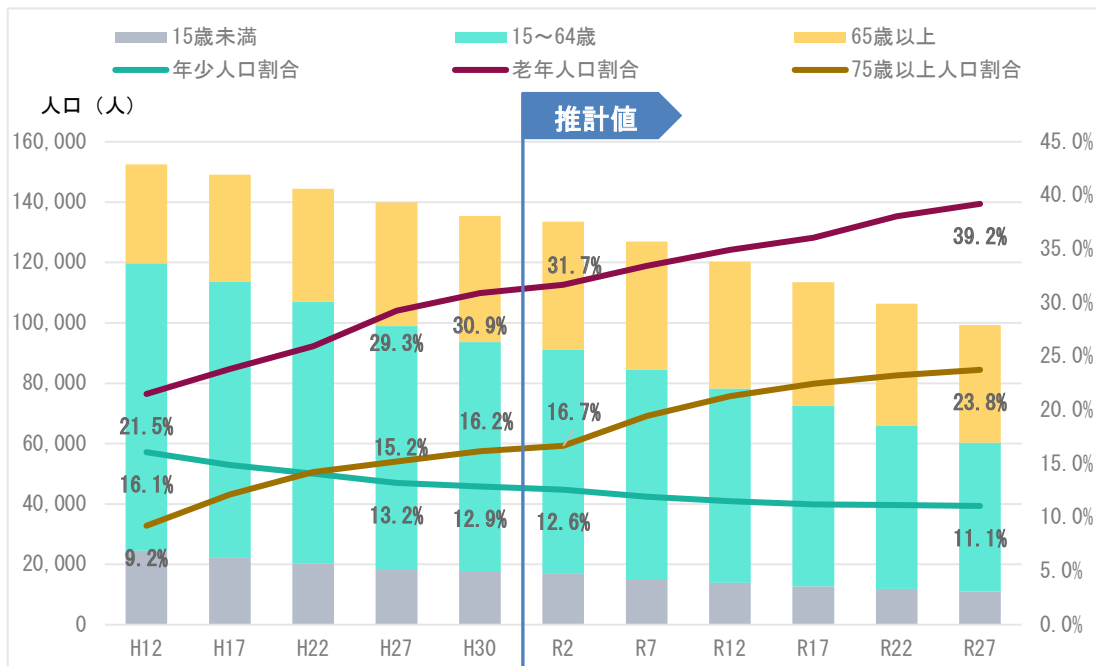
資料：福井県統計情報課「福井県の推計人口（平成30年10月1日現在）」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」（令和7年～）

3.年齢構成（高齢化率）および推移

嶺南地域の年齢構成の推移をみると、年少人口、生産年齢人口が減少傾向にあります。一方、老年人口は増加傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。今後、高齢者への支援がますます重要になります。

年齢3区分別人口と年少人口割合および高齢化率の推移



資料：国勢調査（～平成 27 年）、福井県統計情報課「福井県の推計人口（平成 30 年 10 月 1 日現在）」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年 3 月推計）」（令和 2 年～）

市町別 75 歳以上人口の推移

(単位：人)

市町名	平成 17 年	平成 27 年	平成 30 年	令和 7 年	令和 17 年	令和 27 年
敦賀市	6,952 (10.2%)	8,808 (13.3%)	9,229 (14.2%)	11,135 (18.0%)	12,024 (21.2%)	11,549 (22.6%)
美浜町	1,564 (14.2%)	1,742 (17.6%)	1,723 (18.2%)	1,898 (22.2%)	1,850 (25.6%)	1,546 (26.0%)
若狭町	2,495 (14.9%)	2,900 (19.0%)	2,948 (20.3%)	3,103 (22.8%)	3,092 (25.8%)	2,786 (26.8%)
小浜市	4,318 (13.4%)	4,877 (16.4%)	4,926 (17.2%)	5,218 (19.8%)	5,118 (22.1%)	4,669 (23.4%)
おおい町	1,235 (13.4%)	1,351 (16.2%)	1,366 (16.9%)	1,412 (20.0%)	1,474 (25.0%)	1,309 (27.1%)
高浜町	1,515 (13.0%)	1,622 (15.3%)	1,713 (16.5%)	1,914 (20.2%)	1,909 (22.9%)	1,720 (24.1%)
計	18,079 (12.1%)	21,300 (15.2%)	21,905 (16.1%)	24,680 (19.4%)	25,467 (22.5%)	23,579 (23.8%)

資料：カッコ内は人口に占める割合

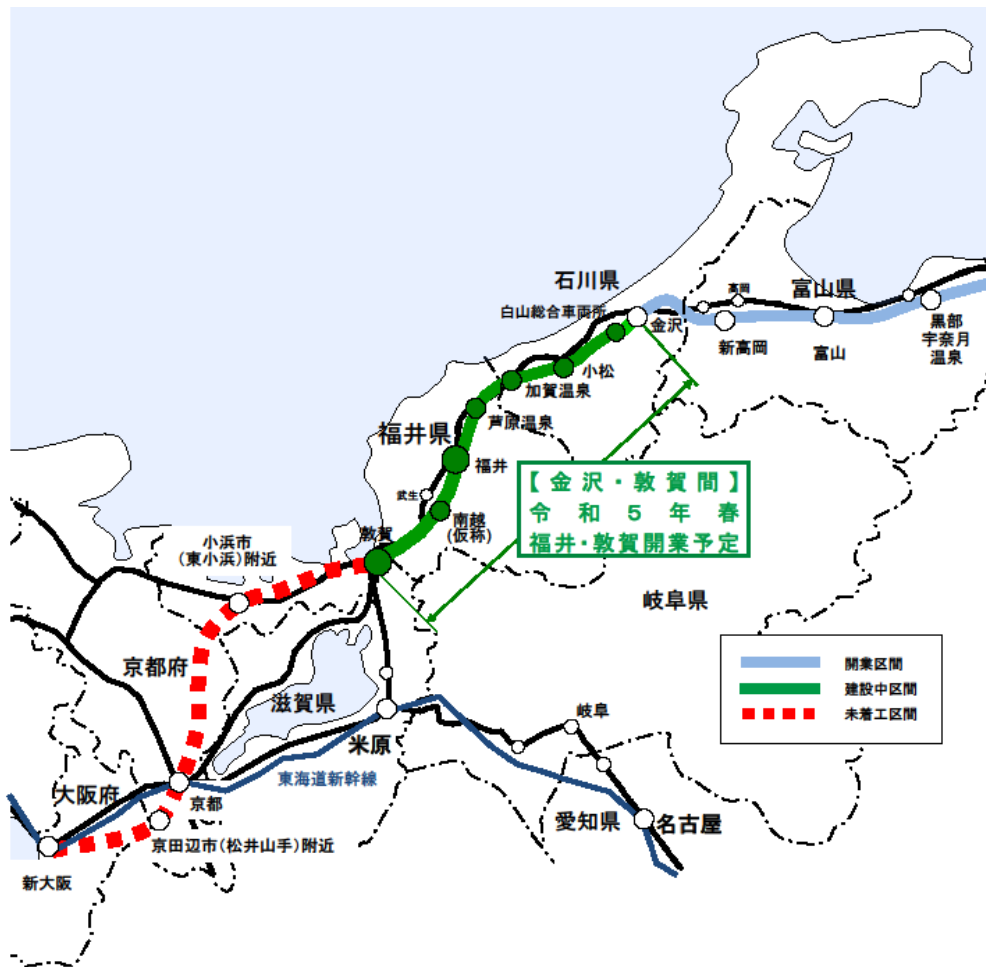
国勢調査（～平成 27 年）、福井県統計情報課「福井県の推計人口（平成 30 年 10 月 1 日現在）」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年 3 月推計）」（令和 7 年～）

4.北陸新幹線の開業

令和5年春の北陸新幹線敦賀開業により、主要都市からの移動時間が短縮します。開業に伴う敦賀駅の年間乗降客数は、平成29年度の261万9千人から令和5年度には330万人に増加すると見込まれ（出典：敦賀市「北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画」）、交流人口の拡大が予想されています。

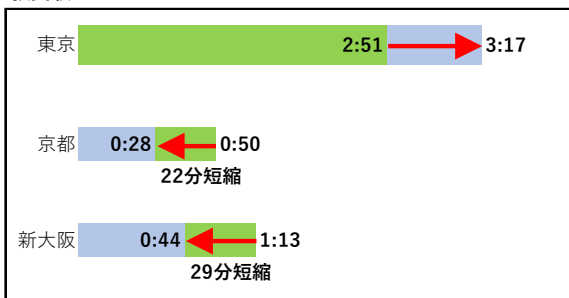
また、敦賀・新大阪間についても、小浜・京都ルートにより整備されることが決定しています。大阪、京都方面への時間距離が飛躍的に改善し、関西方面からの交流人口の拡大が予想されます。

北陸新幹線の整備状況

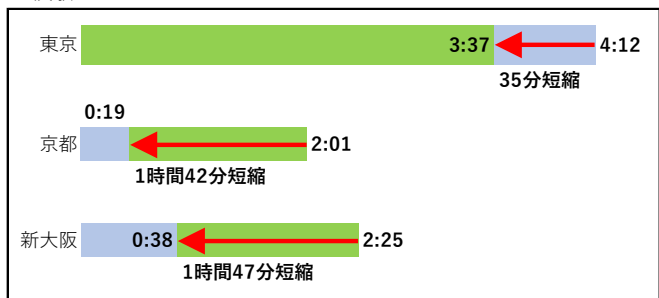


嶺南各駅からの所要時間（全線開業後の時間短縮効果）

敦賀駅



小浜駅



出典：福井県新幹線建設推進課

5.日常生活に必要な施設の立地状況

日常生活に必要な施設（公共施設、医療施設、高校などの学校、スーパー等）が、概ね各市町に立地しています。

○嶺南地域の公共施設等は比較的充実しており、各市町に規模の大きい施設があります。



オルパーク（敦賀市）



生涯学習センターなびあす（美浜町）



パリア若狭（若狭町）



おばま食文化館（小浜市）



総合運動公園（おおい町）



高浜町庁舎（高浜町）

○医療施設については、中規模の病院（診療所）が各市町にあります。

規模の大きい病院は、敦賀市（市立敦賀病院、国立病院機構敦賀医療センター）、小浜市（杉田玄白記念公立小浜病院）、若狭町（レイクヒルズ美方病院）にあり、他市町からの通院者もいます。



市立敦賀病院（敦賀市）



国立病院機構敦賀医療センター（敦賀市）



レイクヒルズ美方病院（若狭町）



杉田玄白記念公立小浜病院（小浜市）

○高校については、嶺南地域に 6 校（敦賀高校、敦賀工業高校、敦賀気比高校、美方高校、若狭高校、若狭東高校）ありますが、いずれも小浜市以東に立地しており、小浜線を利用して通学する生徒が多くみられます。

敦賀高校、敦賀気比高校を除き、いずれも駅から徒歩圏に立地しています。（左記 2 校の前にはバス停があります）



敦賀高校（敦賀市）



敦賀工業高校（敦賀市）



敦賀気比高校（敦賀市）



美方高校（若狭町）



若狭高校（小浜市）



若狭東高校（小浜市）

○比較的規模の大きいスーパーが、各市町に 1 店舗以上立地しており、日常生活における食料品の買い物等は、各市町内で可能です。ただし、駅から徒歩で行けない場所に立地する店舗も多く、別の移動手段を要します。

洋服等を購入できる店舗は、敦賀市や舞鶴市、さらには京都方面等へ出向く必要があります。



アル・プラザ敦賀（敦賀市）



アピタ敦賀店（敦賀市）



A コープ美浜店（美浜町）



PLANT-2 上中店（若狭町）



ハーツわかさ店（小浜市）



おばまショッピングセンター（小浜市）



サニーマートおおい店（おおい町）

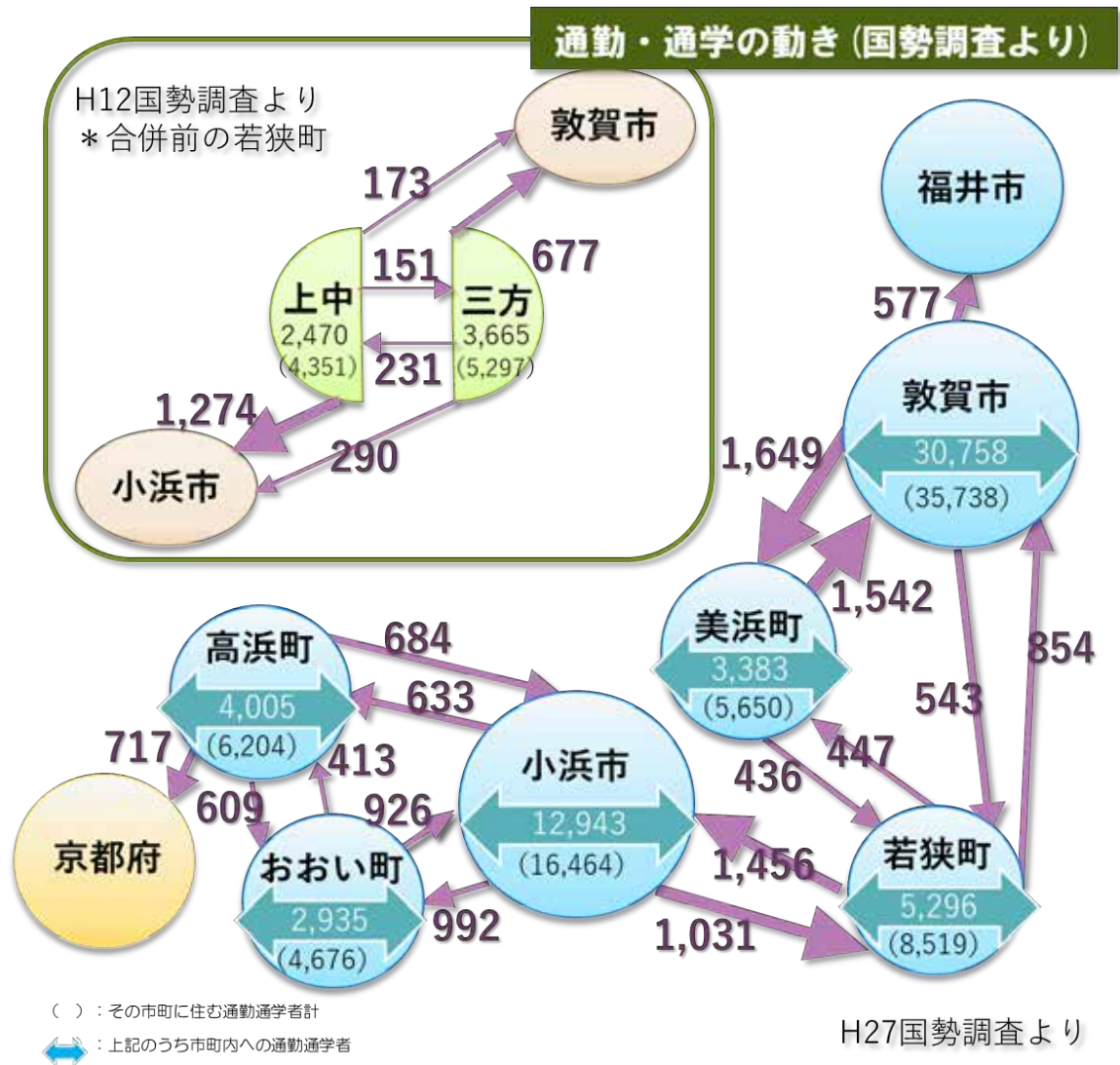


サニーマート南店（高浜町）

6.通勤・通学の動き

通勤・通学の動きをみると、まず、各市町内で通勤・通学する住民が大半を占めています。市町間では、大きく、敦賀市に向かう動きと、小浜市に向かう動きがあります。高浜町は、むしろ京都方面（舞鶴市）に向かう動きが多い傾向があります。

若狭町について、合併前の状況をみると、旧上中町は小浜市へ、旧三方町は敦賀市への動きが多い傾向があります。

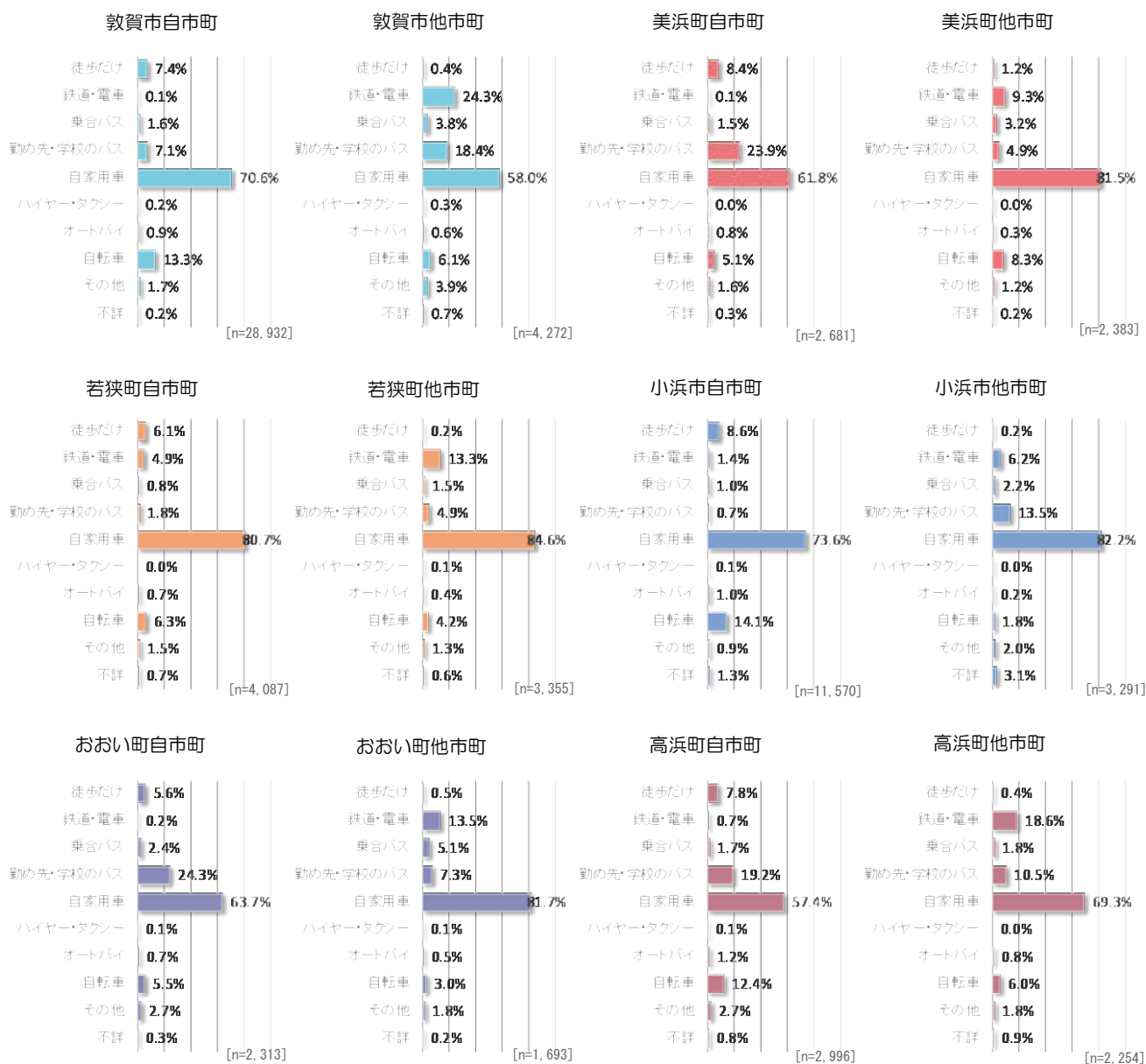


通勤・通学での利用交通手段

通勤・通学での利用交通手段について、各市町の状況をみると、いずれも自家用車（クルマ）の割合が極めて高い状況です。

自家用車利用は、特に自市町への通勤・通学では、若狭町、小浜市、敦賀市で7割以上となっており、他市町への通勤・通学では、若狭町、小浜市、おおい町、美浜町で8割以上となっています。

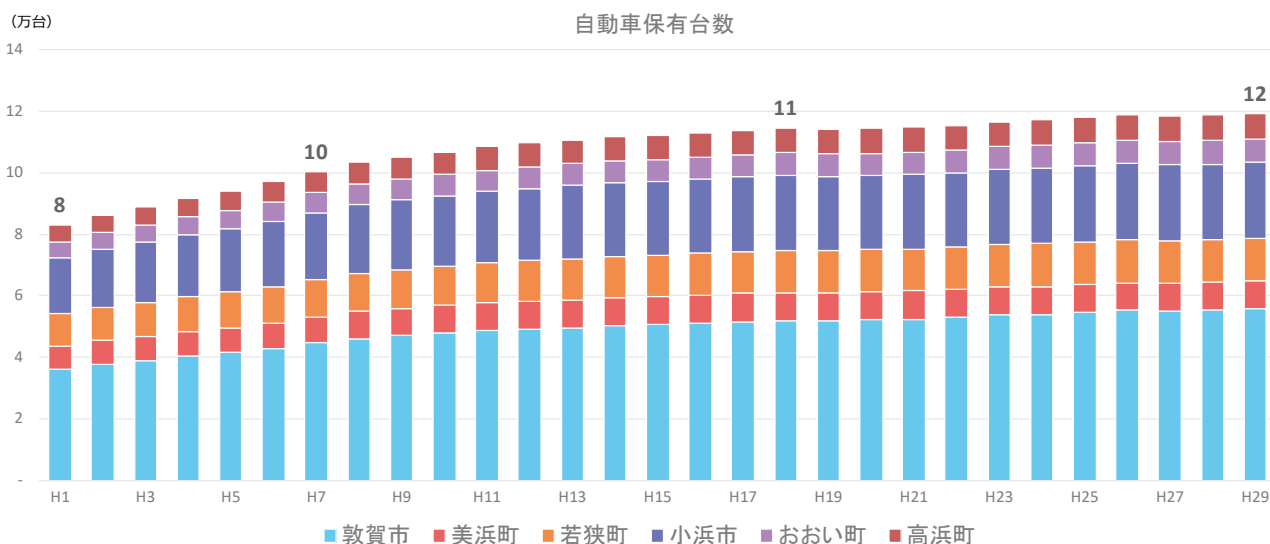
他市町への通勤・通学で、鉄道の利用がありますが、乗合バスの利用は極めて少ない状況です。



出典：平成22年国勢調査

7.自動車利用、運転免許所有の状況

嶺南地域の自動車保有台数は増加し続け、近年においても微増しています。
 各市町の世帯当たりの自動車保有台数は、概ね 2 台を超えており、特に、若狭町、おおい町で多い状況です。また、20 歳以上人口当たりの自動車保有台数を試算すると、1 人当たり 1 台を超えており、クルマに対する志向が極めて高くなっています。



出典：中部運輸局

世帯当たりの自動車保有台数

	自動車保有台数 (H31.3月末時点)	世帯数 (H30.10月時点)	台/世帯
敦賀市	55,306	26,912	2.06
美浜町	8,773	3,850	2.28
若狭町	13,586	4,784	2.84
小浜市	24,531	11,326	2.17
おおい町	8,291	3,219	2.58
高浜町	7,370	4,302	1.71
嶺南計	117,857	54,393	2.17
福井県	662,113	286,392	2.31

20歳以上人口当たりの自動車保有台数

	自動車保有台数 (H31.3月末時点)	20歳以上人口 (H30.10月時点)	台/人
敦賀市	55,306	52,573	1.05
美浜町	8,773	8,036	1.09
若狭町	13,586	11,937	1.14
小浜市	24,531	23,599	1.04
おおい町	8,291	8,575	0.97
高浜町	7,370	6,544	1.13
嶺南計	117,857	111,264	1.06
福井県	662,113	626,909	1.06

出典：「自動車保有台数」中部運輸局、「軽自動車保有台数」福井県軽自動車協会、
 「市町別・年齢別人口」、「市町別人口および世帯数」福井県統計情報課

嶺南地域の運転免許保有者数は、平成30年度は年間95,188人（20歳以上の人口に占める割合は86%）です。一方、嶺南6市町の免許返納者数は、平成26年度から年々増加しており、平成30年度は537人が免許を返納しています。



※嶺南6市町の20歳以上人口から、免許保有者および免許未保有者の割合を算出
 出典：「福井の交通」福井県警察本部、「市町別・年齢別人口」福井県統計年鑑

8.観光の状況

嶺南地域には観光資源が豊富にあり、特色ある観光スポットが各市町にそれぞれあります。大半の観光スポットが駅から徒歩ではアクセスできない位置に立地しています。駅からこれらの観光地へ行くには、徒歩以外の移動手段を必要とします。



氣比神宮（敦賀市）

- 敦賀駅から敦賀市「ぐるっと敦賀周遊バス」で約5分
- 敦賀ICから車で約10分



水晶浜海水浴場（美浜町）

- 敦賀駅から福井鉄道バス「菅浜線」で約45分
- 若狭美浜ICから車で約20分



熊川宿（若狭町）

- 上中駅から西日本ジェイアールバス「若江線」で約10分
- 若狭上中ICから車で約15分



明通寺（小浜市）

- 東小浜駅から小浜市あいあいバス「池河内線」で約15分
- 小浜ICから車で約15分



福井県子ども家族館（おおい町）

- 若狭本郷駅から徒歩約15分
- 小浜西ICから車で約5分

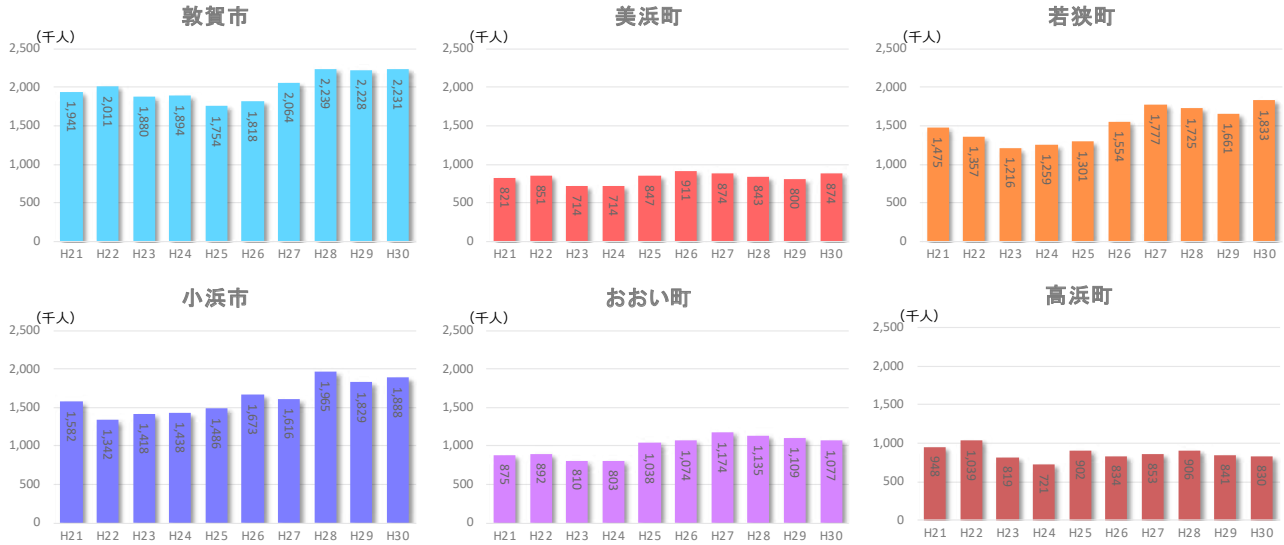


若狭和田海水浴場（高浜町）

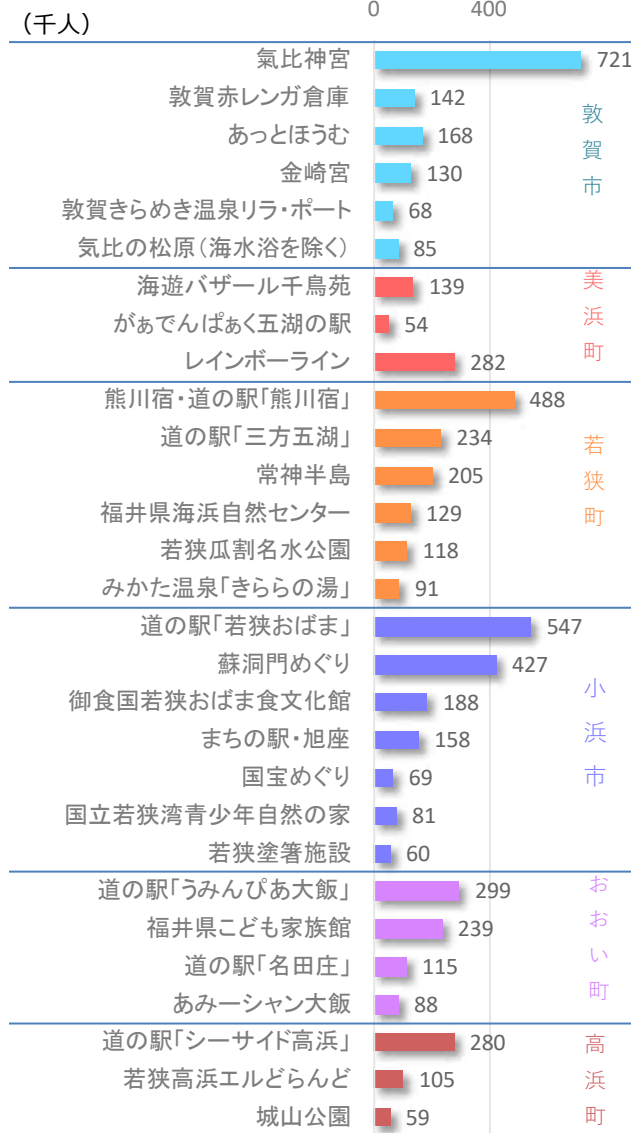
- 若狭和田駅から徒歩約12分
- 大飯高浜ICから車で約15分



観光客入込数の推移

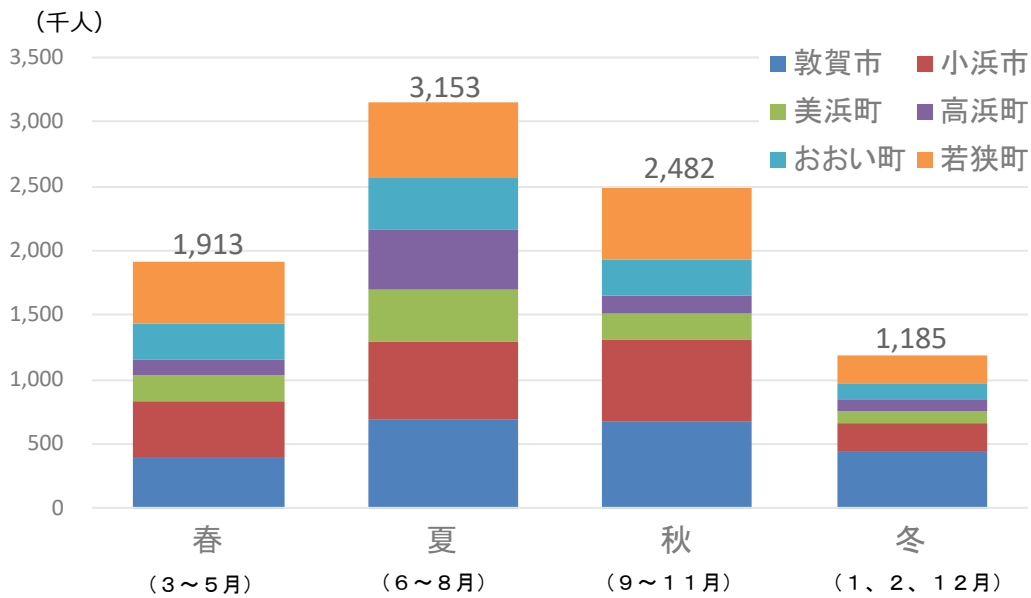


主要観光地の観光客入込数



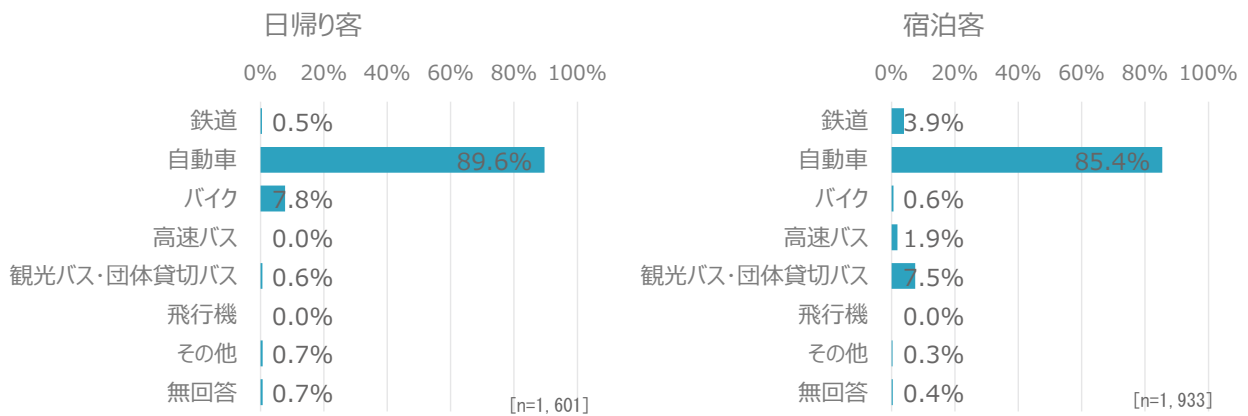
出典：平成30年福井県観光誘客課「福井県観光客入込数（推計）」

季節別観光客入込数



出典：平成 30 年福井県観光誘客課「福井県観光客入込数（推計）」

若狭路までの主な交通手段



出典：平成 24 年嶺南広域行政組合「若狭路観光実態調査」